



BUKIT CHANDU

Battle Point 226

ブキ・チャンドゥ回想館

ブキ・チャンドゥ回想館は、第二次世界大戦中のパシル・パンジャンの戦いと、その戦いに参加したマレー連隊の兵士たち、そしてブキ・チャンドゥの歴史を記念して作られた歴史遺産博物館です。遺跡の歴史と深くかかわるバンガローを利用した当博物館では、肌で感じられる体験やゆかりの品の展示を通して、ブキ・チャンドゥとパシル・パンジャンを多面的に紹介しています。来館者は戦時中にこの国が経験したことや、犠牲となった勇敢な兵士たちに思いを馳せることができます。

一般向けプログラム

2月と9月には、第二次世界大戦中にシンガポールで起きた主な出来事に関連した特別プログラムを開催します。学芸員による説明や講演などをお楽しみください。

学校団体の方

学校団体見学に、ブキ・チャンドゥ回想館をぜひご利用ください！

学生のみなさまには、マレー連隊兵士が第二次世界大戦中に使用していた品々を通じて、パシル・パンジャンで犠牲となった勇気あるマレー連隊について、より深く学んでいただけます。また、戦地の歴史や戦前の様子についても詳しく知ることができます。

ご予約はNHB_CCMBC_Programmes@nhb.gov.sgまで、ご希望の日時など詳細を添えてご連絡ください。

開館時間

午前9:30～午後5:00（火曜日から日曜日）
休館日：月曜日（祝祭日を除く）
最終入館：午後4:30

ガイド付きツアー

無料ガイドツアーは、先着順で最大15名様までご利用いただけます。空き状況はガイドの都合によります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

お問い合わせ

RBC@nhb.gov.sg

オンラインコンテンツもご覧ください！

www.bukitchandu.gov.sg

reflectionsatbukitchandu

reflectionsatbukitchandu

管理者



提供



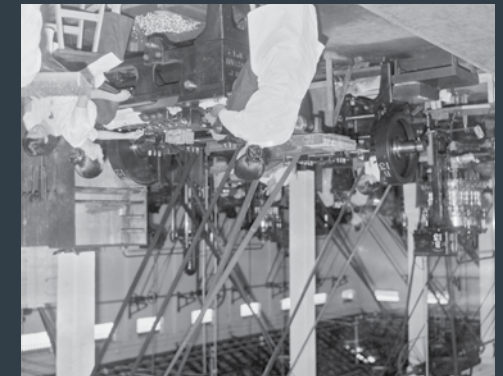
ご利用案内

REFLECTIONS AT BUKIT CHANDU



上の画像：ブキ・チャンドゥのアヘン梱包工場
提供：ウイリスン大学ミルウェイキー校 (UWM)
図書館 アメリカ地理学協会図書館。

このバンガローは、1930年にアヘン梱包工場の英国人幹部職員のため、他のバンガローとともに建設されたものです。ブティック・アヘン・トと呼ばれる植民地住宅の影響を受けています。が、アール・デコの要素も色濃く残っています。1990年代、このバンガローは人々の関心を集め、第二次世界大戦の歴史遺産博物館として保存されることになりました。ブキ・チャンドゥ回想館として2002年2月15日にオープンしました。



建物について

ご支援のお願い

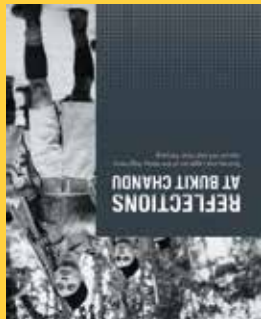
ブキ・チャンドゥ回想館は1942年2月に起きたパシル・パンジャンの戦いの物語が、未来の世代に希望を与えてくれることを願い、展示、保存を続けてまいります。みなさまからのご寄付をお待ちしております。ご寄付いただける場合は、上のQRコードをスキャンしてgiving.sg経由で、または下のQRコードをスキャンして直接モバイル・バンキンク・アプリから行なってください。また、モバイル・バンキンク・アプリにログインしてPayNowのQRコードをスキャンしていただくことも可能です。



スキャンして、先にRBCと入力し、送金をご確認ください。

博物館総合カタログ

ブキ・チャンドゥ回想館の学芸員によって書かれた博物館総合カタログでは、パシル・パンジャンの歴史と物語を詳しく紹介しています。マレー連隊の歴史や1942年2月のパシル・パンジャンの戦いから、ブキ・チャンドゥの名前の由来まで、14世紀初頭から今日までのこの地域の歴史を詳しくご紹介します。博物館総合カタログは、ブキ・チャンドゥ歴史センターでお求めいただけます。



72ページ、ペーパーバック
小売価格：18ドル（税込み）
ISBN: 978-981-18-1982-7



ミュージアムグッズ販売

博物館の出版物やコレクションにちなんだオリジナルデザイングッズを販売しております。QRコードから商品をお選びいただき、ピシター・ピシター・ピシターでお買い求めください。このお買物は博物館と展示の支援につながります。



ブキ・チャンドゥ: 戦場 226

マレー連隊は「試験的な部隊」として集められた25名の兵士により、1933年に結成されました。それから10年間で、訓練を受けた1400名近い兵士からなる部隊となりました。ブキ・チャンドゥ: 戦場 226 は、マレー連隊の起源から1942年のパシル・パンジャンでの日本軍との運命的な戦いまでの物語です。

1 マレー連隊

このセクションでは、マレー連隊の起源と編成、使用した装備や特別にデザインされた制服、連隊のメンバーや英雄となったアドナン・サイディ中尉の戦前の映像などを紹介します。



2 戦争へ

1941年にこの地域で戦争が始まったとき、マレー連隊は最前線にいました。このセクションでは、1942年2月のブキ・チャンドゥの戦いを頂点とする、マラヤとシンガポールの防衛における連隊の物語を紹介します。



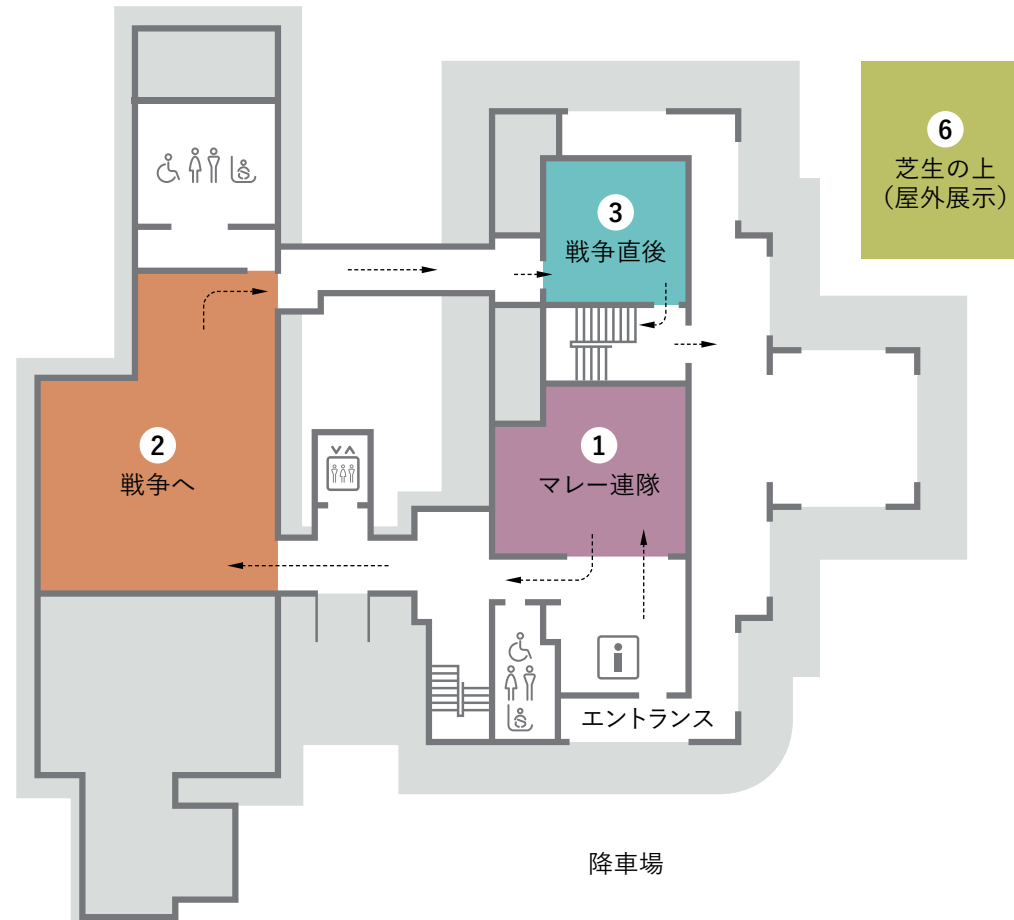
3 戦争直後

シンガポールが降伏するまでに、マレー連隊の100人以上の兵士が戦死しました。また、降伏後、日本兵に制服を脱げと命じられたものの、脱がなかったために殺された者もいました。このセクションでは、連隊のモットーであるTa'at Setia(マレー語で「忠実・忠誠」)を最後まで貫いた兵士たちに敬意を表しています。

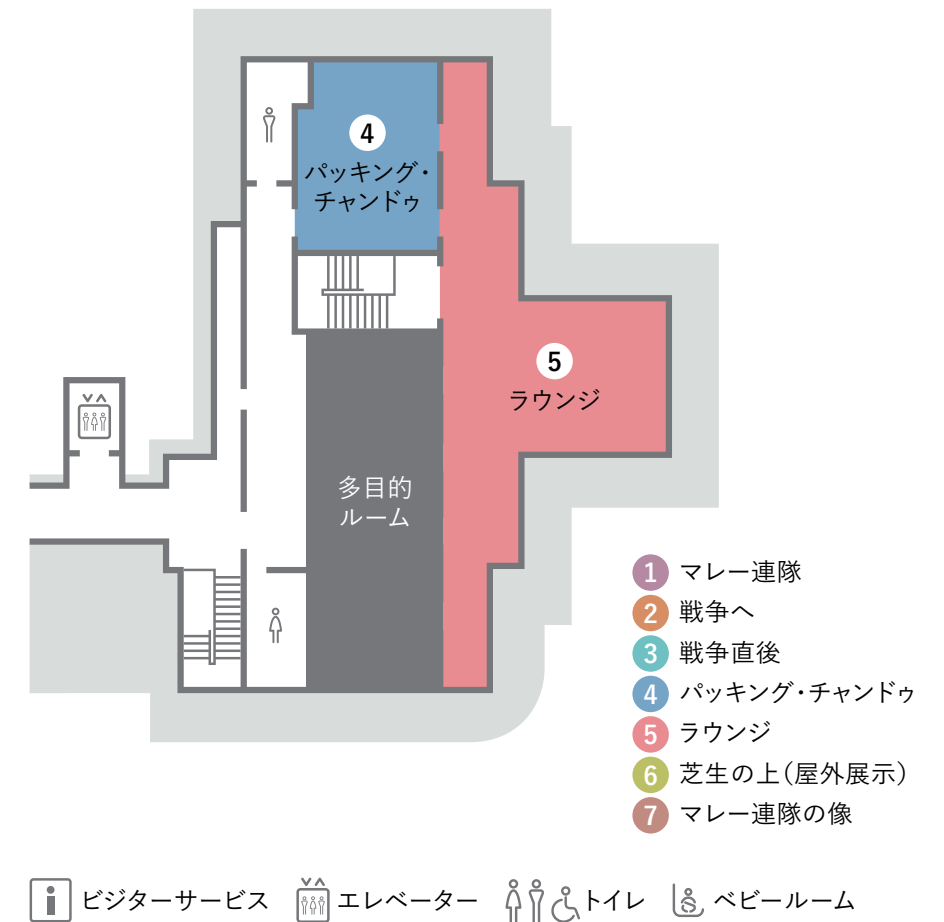


英国軍兵士の装備品

1階



2階



4 パッキング・チャンドゥ



ブキ・チャンドゥ(アヘンの丘)は、かつて丘のふもとにあったアヘンの梱包工場にちなんで名付けられました。

このギャラリーでは、シンガポールでのアヘン製造の歴史やアヘン梱包工場での生活、アヘン中毒の被害とその対応についてご紹介します。

6 芝生の上(屋外展示)



マレー語で「長い浜辺」や「長い砂浜」を意味するパシル・パンジャンは、何世紀にもわたってシンガポールの景観の一部として

親しまれてきました。2つの屋外展示では、地元の名所旧跡であるLong Ya Men(龍牙門)や、かつてこの地域に点在していたパイナップル農園について学ぶことができます。

5 ラウンジ



ブキ・チャンドゥ回想館は、元々はアヘン梱包工場の英国人幹部職員のために建てられたバンガローを利用しています。ラウンジでは、この家のかつての住人たちのように潮風や景色を楽しみながら、建物や周辺地域について知識を深めることができます。

7 マレー連隊の像



マレー連隊の迫撃砲隊員たちの姿をとらえたこの彫刻は、第二次世界大戦中の兵士の勇敢さ、犠牲、英雄的行為を記念して制作されました。

チャットボットでもっと楽しめます



携帯でチャットボットを使って、専用のオーディオツアー、様々な言語の展示の説明をお楽しみいただけます。そのほかにビジターサービスカウンターで購入できるブキ・チャンドゥ回想館の商品もご覧いただけます。パシル・パンジャンの海岸からマレー連隊の最後の砦までを案内するオーディオガイドもご利用ください。この周辺にある第二次世界大戦関連の場所も見ることができます。QRコード(左)をスキャンして、チャットをご利用ください。

博物館からのお願い

当館ではお客様やスタッフの安全を第一に考えております。すべての人に快適にお過ごしいただき、収蔵品を保護するため、以下の点にご協力ください。



ブキ・チャンドゥ回想館は、すべての来館者が利用しやすく、楽しい体験ができるように努めています。バリアフリー設備とサービスについては、ビジターサービス担当者にお問い合わせください*!

*すべてのギャラリーと施設は、車いすやベビーカーでご入場いただけます。手動の車椅子を、ビジターサービスカウンターでもご利用しております(台数に限りがございます)。展示の説明は、携帯電話のチャットボットをご利用されますと、日本語、英語、中国語、マレー語、タミール語の大きな文字で表示できます。

すべての情報は印刷時点のものとなっております。無断転載は禁止とされています。本書の資料は、出版社であるブキ・チャンドゥ回想館の書面による同意なしに、その一部または全部を制作することはできません。著作権 2023年。